

LICENSED PRODUCT

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



桃の首途上

5
2103
1



65

70

75

80

85

門へ利5
2/109
巻1-8



志のそ途

藤年 藤氏遺愛之記

明治四十五年四月廿四日

藤年 藤氏遺愛之記

亭詞

蓮二葉

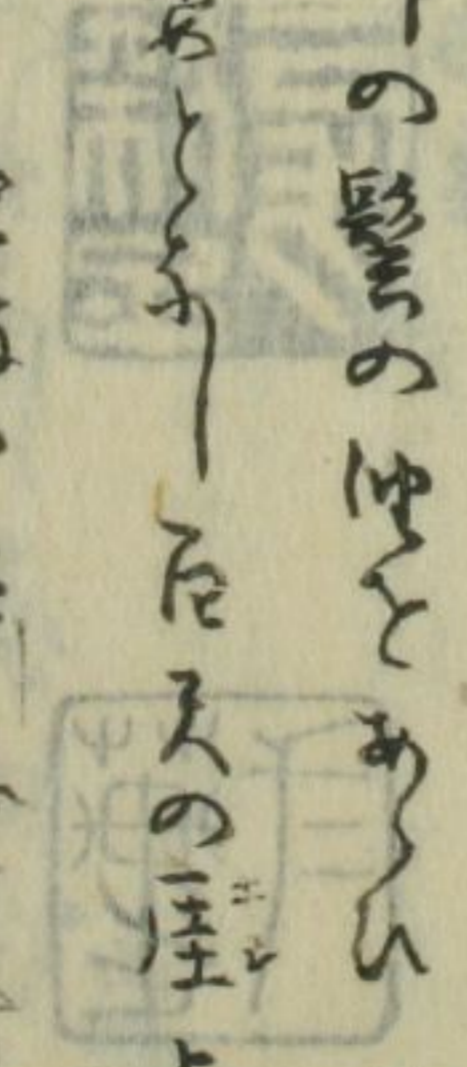
享保のころ一丁末のまこと越後のけしきと
さくせり合羽のころのころのころのころ
藩園にまはさるの年とくらさんと
柳子屋の子末はしそ途と移り
芝野園のありしころのありしころ

非上

いー我作のふくくりよ祝文の
旅の奥より一喜寄懐くよ也と
るふりししししししししししし
文意にふしししししししししし
はして世の中ようれふと今も
よせらる旅のちひとささの
ししししししししししししし
るふりししししししししししし



いししししししししししししし
ししししししししししししし
はふししししししししししし
らしししししししししししし
こふししししししししししし
花陽の親切よあましくしん
細善ししししししししししし
慈恵ししししししししししし



そく 仰々の減らるおあし
秋の如く山の錦あふくはる
のあふく色くあふくまはる
れとえさやとあふくあれ
仰々のにんあふく



そく

白新行

錦言の語くはる春のむ 蓮

山縣庫中

あふく 緋の思ふ子 星紅

あふく 交あふく 野航

あふく けくあふく 六之

あふく あふく 白帆

あふく あふく 赤羽



手れらと実もこうせりくまの月 右範
 綿 世れ中一の塩 もりく 栗儿
 心あふおちゆ人秋 玉 ちりぬ 李仁
 業師よりりの傘 又々 里ぬ
 心芥子の咲こちれりも 昌 ちり 子持
 心あしえ ちりあうね 春 ちり 鯉計
 心あしえ 隠居のちりくまの月と延 芦洲
 心あしえ ちりあうね 春 ちり 赤橋

心あしえ 月と実もこうせりくまの月 西條
 心あしえ 手れらと実もこうせりくまの月 専架
 心あしえ 心あふおちゆ人秋 岐草車
 心あしえ 心あふおちゆ人秋 里ぬ
 心あしえ 心あふおちゆ人秋 柳園
 心あしえ 心あふおちゆ人秋 杜竜
 心あしえ 心あふおちゆ人秋 台古
 心あしえ 心あふおちゆ人秋 櫻二

桃上

日

丁こー銭のころくよじりて 江戸

菜とくよきよきよのまけい 水胡

手ぬれよぬゆのちりり 船りりちんちん中 泊楓

あいの女中の信よきき 船中 里ぬ

くもぬれ八卦よきとあらし 七雨

日ちるぬれも静も入ぬ 羽松

膳とくよきき信とあらし 右琴

祖父もよきあひあらし 仲春

舟の精毛の馬とぬいふり 梅春

赤いぬ中と市の目よきき 築吉

吹矢筒とけりてお喜の菜ぬえ 遠近

手ぬれよきき信とあらし 里ぬ

子ぬれよきき信とあらし ぬ丸

よきき信よきき信とあらし 信吉

こ服とぬれへらし念ふぬり 梅吉

ぬれよきき信とあらし 府山

下巻

上巻

教入の口おめ4-5月のくく 高丁

重七 織屋の者りよるをり 楚柳

忍之し小信しゆく 磯まよひ 小方連中 忍今化

口くくそんくく 後部 歸 里に

くハ言も尾のめらやん 龜ふり 退こ

延席ぬし 名の 扱 白 夢の

か會海の荒くくうのくおまた 凡為

くくくくくくくく 信くくくくく 比知

くくくくくくくく 名 巻

くくくくくくくく 山縣連十

名 録

山縣連十

葉のくやい山里のま 不 幸 野航

くくくくくくくく 信くくくく 六之

探かみきよ 結れ 名 子 白ね

能上

まよひの歌はうらなひ月ふら
後信をうらなひ馬のまを
まよひのあはれなりあはれなり
栗儿

関連中

志保くほしとあはれ
古代ふよこれゆき
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり

まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり
まよひのあはれなりあはれなり

船止

二

夏やややわくわく びん 里 伝 伝 伝
餅 餅 餅 餅 餅 餅 餅 餅 餅 餅
起 起 起 起 起 起 起 起 起 起

夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏

七 七 七 七 七 七 七 七 七 七

羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽

伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝

有 有 有 有 有 有 有 有 有 有

伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝
夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏
七 七 七 七 七 七 七 七 七 七
羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽
伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝
有 有 有 有 有 有 有 有 有 有
夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏
七 七 七 七 七 七 七 七 七 七
羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽
伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝 伝
有 有 有 有 有 有 有 有 有 有

おのれはまはつ振神の　まき　女　唐山
おのれはの鹿もくくろくもく　あつ　あつ
おのれはまはつ　あつ　あつ　あつ　あつ

小方連中

まはのほく　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ

あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ

あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ

あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ

あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ
あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ　あつ

越前

敦賀 短歌行

東郷

あけのぼるあけのぼるあけのぼる

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 里紅

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 翠舟

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 梨月

あけのぼるあけのぼるあけのぼる

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 如

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 月

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 舟

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 想

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 舟

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 舟

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 月

あけのぼるあけのぼるあけのぼる 東郷

いづかのそとて 知事一人 而後 徐々

おんくまの業後 治すべし 氣はほくく 而揚

竹しきし 起し 書 又 紀 紀 紀

徳をくまの業のきり子の可し 又 又

二三百のそとて 又 又 又 又

徳月の移る所の市のきり 又 又

徳の所と 又 又 又 又

徳のそとて 又 又 又 又

徳のそとて 又 又 又 又

徳のそとて 又 又 又 又

徳のそとて 又 又 又 又

名録

徳のそとて 又 又 又 又

徳のそとて 又 又 又 又

桃上

上

るく錠のきりのくま 東也

懐くかきつはばのきよき

深さゆはくは涼し 道の静 東月

きよき 馬はあかき 川じふ

七きよき 名おりこいもれぬ 雨陽

こく月かきつてんか人の歌

きよのきよか 氷こくくし 西舟

昔村かきつてんか人の歌

きよきとあきかきよき か

杖のやせかんの信長よめ麻子

山さかききとあき 記

美ら丸とらむかきつてんか人の歌

符中 短号行

足校

昔もまひよ卒のあきとやふる人
 こそれ強きと書の下言 聖の
 村あれを後よ 麻をわきて 政的
 代言ぬとふゆる 人は 柳鼓
 七浦の裡とてとらぬ 高れ月 ぬ
 板のまゝにふりよらぬ ぬ

杖のよけよら雁の十侯 連 春
 世傳よててらん 品と境 的
 おまゝとよすのそは 僕とまてけり 板
 掃く、こゝろわん 念のりよちり ぬ
 ときを採しとあつてん せのむせり ぬ
 室うあつていよと 夜と日 朝
 そものちりちりよる 門いひい ぬ
 姫のらと 掃く、吹 碓 ぬ

ある茶とやらをいふてはあはれ
おもしろいおもしろいおもしろい
下はとておもしろい歌とあはれ
ある茶の祖父もいふてはあはれ
細く片側町の夜は月
おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい

各録

おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい
おもしろいおもしろいおもしろい

名月の中よの白雲よ ねのこ
モヤリ
虎尾よも ほ美らけらるる月よ
鳥よも 本頃のちるも

短歌行

こゝろわくのまじりかきよ
おややといふもよ ぬき
雪吹

花の結はよ 藤とあふかて
お柳よまらふ家 ぬくもて
あふくもて 強時へ ねの 十之右
春の鹿のひかへ 鹿 少
い中へ 新れそも 二地りい
管の 割と 取く お袋
春よ 葉の 小神こまへ
花もと ばよ あり やよ
白

巻上

住居しるのま橋と 雲をよし
 しんしんしんしんしんしんしん
 ねねのゆはよる供とまこと
 ぞよまよまよまよまよまよ
 吾館の葉と膝よ次はまよ
 日ちほほよまよまよまよまよ
 めんてまよまよまよまよまよ
 じわんしんしんしんしんしんしん

吹 吹 吹 流 芝 ね 他 流 芝 ね 吹

竹破の月よりしんま中の人
 海の草のまよまよまよまよ
 重し美のゆま言はしんま
 舟人のまよまよまよまよまよ
 そくしんしんしんしんしんしんしん
 めんてまよまよまよまよまよ

流 吹 吹 吹 吹 吹 吹

谷録

浮かつた人よ春の 以中よ 六只
 体よ春中おきつた 花よ春の 雲
 春よ春のよ春よ 牡丹よ 舞遠
 春月や春よ 春よ 春よ
 春よ春よ 春よ 春よ
 春よ 春よ 春よ 春よ
 春よ 春よ 春よ 春よ

竹の子や梅の花 越へ 畠中 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流
 春よ 春よ 春よ 春よ 山流

さういふいふや酒の白木俵 寺吹

三國 無言

弁の子よさきふりきき年るあーり

由まよらく・門さの心 里

あーりーさきよ矢あううんうて 傍

さういふあーりさきよ 言

三月入りたと祈るまうり お

御ま右長横に 留 あうり

お のあうりまうり い

さきよ あうり あうり あうり あうり

あうり あうり あうり あうり あうり

あうり あうり あうり あうり あうり

あうり あうり あうり あうり あうり

あうり あうり あうり あうり あうり

多年の初とせよとる信ありて
いほくも懸極くさる信又あり
縁掛し余子の言決すてあるよ
松より竹の言はれんハツカ
睡臥し門へ入町の言はれん
老母のかと極しつやう人
雲をよもさの月ぬと原あり
所よ懸く一とて言はれん

此も連書して信はれん
老母のかと極しつやう人
久永物（心）入日傳も一とて言は
許しも言へ難の言はれん

名録

多かれ得へり言へて述して大言ふ
昨書

るゆかりのしるしは五尾寺 権ま
よ金のあしはくちやうりゆく
もゆくのゆくはくちのくちぬい 雲角
きくはやくちのきくはくちのくち 一統
るゆくはくちのゆくはくちのゆく 弟言
ゆゆくはくちのゆくはくちのゆく 車人
凡そまやゆくはくちのゆくはくち 僞 趣言
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち 乙貫

吟

大心寺

趣言

多品

ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち
ゆくはくちのゆくはくちのゆくはくち

非上

非

一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり
一斗のちりしむる年一の能くあり

斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり
斗にりしむる年一の能くあり

雲しんてんまきそこのいんじん
まのくとまきまきまきまき

名録

十車よのよと菊よのよ
梅書のよのよとまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき

まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき
まきまきまきまきまき

夏荷の平とくろくさふかきくは
 藤吹
 所くくやあふ紙よ釜の湯き
 岨考
 人くくさふくくや
 菅仲
 日鏡を映くくくくくくくくく
 雁之
 くくくくくくくくくくくくく
 車琴
 夕くくくくくくくくくくくく
 松園
 くくくくくくくくくくくく
 信の上
 之洞
 楊らのくくくくくくくくくく
 如松

本書とくくくくくくくくく
 山市
 七くくくくくくくくくくく
 信吹
 くくくくくくくくくくくく
 一字
 くくくくくくくくくくくく
 如松

十松 短亭子

塵生

のらばやうに浦丁やまのりな
かみかたのちかへい みる 何れを 呈紅
 ちかむるまのりと ちか ねて 乃嘉
かみかたと 遣ふのり ちか ちか 之仲
ウ 耶備へ 遣ふのり ちか ちか 月 貝家
 ちか ちか ちか ちか 涼し

ちか ちか ちか ちか ちか ちか
チモリ ちか ちか ちか ちか ちか ちか 生
 ちか ちか ちか ちか ちか ちか
 ちか ちか ちか ちか ちか ちか 仲
 ちか ちか ちか ちか ちか ちか 事
 ちか ちか ちか ちか ちか ちか 人
 ちか ちか ちか ちか ちか ちか 本
 ちか ちか ちか ちか ちか ちか 人

排上 天四

日よのちかへんかへて 舌 較 七
 美子のまの言語 同 八
 ちかひねんか 九
 化—あふくのふんか 十
 りあふか—一月と 思ふ 十一
 勢ふねてあふか 十二
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十三
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十四
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十五
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十六
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十七
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十八
 ちかふてあふか—あふか—あふか 十九
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十

同前 短歌行

ちかふてあふか—あふか—あふか 二十一
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十二
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十三
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十四
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十五
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十六
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十七
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十八
 ちかふてあふか—あふか—あふか 二十九
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十一
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十二
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十三
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十四
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十五
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十六
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十七
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十八
 ちかふてあふか—あふか—あふか 三十九
 ちかふてあふか—あふか—あふか 四十

う
 ちかふるらしあよあもはちひ遊芝
 月の宿ちまへまら 磯のまき 宿交
 丁七ねひよちりる 冷崎 一洞
 氏子まゝとあつとく 神もあ撲好 和井
 名ふれあふ妹をく 春合 是宙
 宿ぬのまうまをく 吹くれ 差五
 とくひひまふちかふまにこね 糸ら
 内掃丁道ぬよのくねいひあひら ぬ

二
 ちかふるらしあよあもはちひ遊芝
 月の宿ちまへまら 磯のまき 宿交
 丁七ねひよちりる 冷崎 一洞
 氏子まゝとあつとく 神もあ撲好 和井
 名ふれあふ妹をく 春合 是宙
 宿ぬのまうまをく 吹くれ 差五
 とくひひまふちかふまにこね 糸ら
 内掃丁道ぬよのくねいひあひら ぬ

雲よきんくしたまひ 伊織 丘

尾さしはまのちかき 押

照りあしおのち 小

あふくはるのちのち 昭

日くまれのちよふち 兼

名録

日くまれのちよふち 兼

あふくはるのちのち 昭

照りあしおのち 小

尾さしはまのちかき 押

雲よきんくしたまひ 伊織 丘

あふくはるのちのち 昭

照りあしおのち 小

尾さしはまのちかき 押

江波の舟の折入る心むきぬれじ生小
遊人の跡まよふや ち 軌 其方
し 年の少くも一はち舞のじ 交之
み月あのおの船よや 崎しと山 菫子
あふれし 藤しにありて 柳系 是宿
みよきよしきやふふて 文よふきり 次^女 入
松風をよみよしと 是の 流のま 友知
元山と時あふれてや 夕のま 月 李 邑

舞のまの 信可もろれ一おほ 積久
あふれし 流のま 崎のま 入中
凡もあふれしとあり 衣 文 奏琴
まよふのまよふとあり ち 梅の 枝 量
あふれしとありとあり 脈 月 一 内
あふれしとありとあり ち 遊 芝
あふれしとありとあり 月 和 井
あふれしとありとあり 月 偵 交

ちんちんちんちんちんの
 菊おとつきの甲中
 高き方のあつちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん

松江

短冊

ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん
 ちんちんちんちんちんちん

さうしーゆから身もよな根の酒代
身と起して老の 唱言 小
二重なる一重念坊の 和 振
海い 懐ふみきしあふても 代
愛さうしーゆ津の大家の ね
おらーんぬらうに 振
よらぬのふ布のあうー 振
は 振

漢ふちうて言の じしゆ 代
師をと 振の 振の 又 振
三度のきめさうしーゆ 振
羽織と 振よるさうしーゆ 振
さうしーゆ 振ハさうしーゆ 振
ウ 振 振 振 振 振
後ふあうしーゆ 振よるさうしーゆ 振
めんよ 振よるさうしーゆ 振合 振

ハカカノカタトモヨク
 一ノカタノカタトモヨク
 代 勝

名録

ほの音の鼻ふけきり 雁 月 若指
 虹の尾のり 赤るるる 玄里い 古野
 うよこし 者さ かねも 様とん 千代

